

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援  
(4)世代間交流の促進

掲載ページ	71	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課	子育て支援課	
事業の概要	安心して子育てができる環境づくりを進めるため、高齢者にこどもを預かる支援会員として活躍の機会を提供し、世代間交流を図る。					
事業の目的	高齢者の生活を豊かにするとともに、高齢者の知識や経験の伝承や子どもの社会性や情操性を育むため、様々な活動を通じ、世代間の交流を促進する。					
評価の指標	高齢者の支援会員の登録					
27年度	目標値	新規登録者(支援会員)の60歳以上の割合:各年度10%	評点	S	評価	支援会員の新規登録者は30名、うち60歳以上は7名で全体の23.3%に上った。
	実績	23%			今後の取組	今後も地域での子育て支援を推進するよう事業の周知を図り、高齢者の子育て経験を活かす世代間交流を図っていく。

掲載ページ	71	事務事業名	世代間交流を推進する事業	担当課	保育課
事業の概要	公立保育園6園で、高齢者施設等を訪問する、また、高齢者を招いたお楽しみ会等を開催することにより、世代を超えた交流やふれあいの場を提供する。				
事業の目的	子どもと高齢者の交流を促進する				
27年度	評価	平成27年度では、公立保育園6園合わせて、高齢者施設等を訪問した回数は25回、高齢者をお招きした回数は5回となっており、世代を超えた交流を実施することができた。			
	今後の取組	今後も引き続き、できる限り高齢者との交流が図れるよう取り組んでいく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	71	事務事業名	公民館まつり等の開催	担当課	公民館(5館)
事業の概要	公民館まつりや、日本の年越しにおけるしめ縄づくりなどの伝統行事の伝承を目的とした事業の開催。				
事業の目的	高齢者が外出する機会を創出するとともに、地域における交流や仲間づくりを支援する。児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい、活躍の場を提供する。				
27年度	評価	公民館まつり等の開催により、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援しました。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供した。			
	今後の取組	今後も引き続き公民館まつり等を開催し、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援する。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			